

1. 山陽道
2. 駅家
3. 郡家（郡衙）
4. 調・庸などの租税
5. 中下級貴族
6. 木簡
7. 脇街道
8. 日光東照宮

 **作業1** 例)

現代の国道と近い形でルートがとられている。

 **作業2** 例)

国道1号と離れており、古代官道のルート設定に近い。

 **作業3** 例)

政治・軍事上の必要とともに、流通をはじめとして沿線地域の経済や利便性にもとづいてルートが設定されている。その街道が現代の国道へと引きつながれている。

 **作業4** 例)

都と各国の国府をなるべく最短距離で結ぶため、自然地形を無視してでもより直線に近いルートが設定された。目的地により速く到達するために最短距離をとり、沿線地域の利便性をあまり考慮しないという性格は現代の高速道路のルート設定と非常に近い。

 **まとめ** 例)

律令制が崩壊し、行政に関する情報をより迅速に伝えるという中央政府の必要にもとづく道路は維持が難しくなって衰退し、商品の流通や地域の利便性にもとづく道路が主流となっていくから。